

道しるべ

第16号
平成25年7月

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

ボランティア活動を行いました。

昨年5月に長崎県道路愛護団体「道守養成ユニット長崎地区」を設立して以来、道路の清掃・点検のボランティア活動を実施しておりますが、6月22日(土)には第5回目のボランティア活動を行いました。活動範囲は、長崎市滑石から長崎大学前を経て、長崎駅前を通り旭大橋東口交差点まで、約7.5kmにわたりました。約40名の方々の参加をいただき、特に今回は、未来を担う「ちびっこみまもり隊」の多数の参加で、幼児から小学生・大学生・認定者・その他有志の方々と、幅広い年齢層にわたり、明るい雰囲気のもと、清掃点検活動に汗を流しました。

清掃の後は、冷たい飲み物で乾杯！BBQを楽しみ、会話も盛り上がり、有意義な時間を持つことができました。参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。



全員集合



ちびっこ“みまもり隊”やる気満々



みんなで力をあわせて



頑張ってます

清掃活動を行いながら道路の異常チェックを行い、認定者の方々には「道守シート」を多数、提出していただきました。今後もこの活動は続けていきますので、皆さまのご協力、よろしくお願いいたします。

「あさいち」(NHK 全国版)で道守の紹介！

笹子トンネルの事故発生後、インフラの保守点検、長寿命化に対して、世の中の関心が強くなってきているようです。先日、NHKの朝の情報番組「あさいち」において、長崎大学が中心となって養成した「道守」が全国的に紹介されました。



NHK「あさいち」アナウンサー



インタビューを受ける松田先生



道守補助員の市川さん

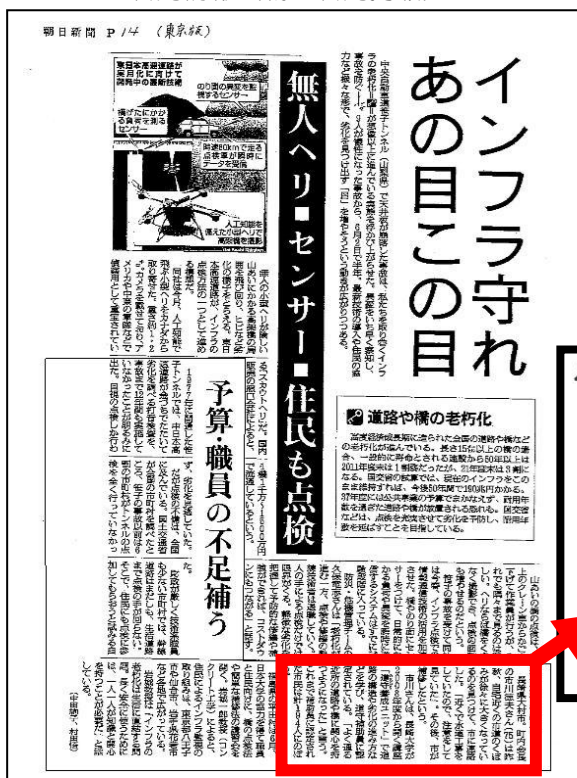
「インフラの老朽化をこんな「目」でチェック！」

「道守認定者は地元の小さな目であるが、小さな大勢の目でみることで重大事故に至る前の発見に繋がり、それがやがてはインフラの長寿命化のための力となっていく」という紹介がありました。

「老朽インフラ地域で守る」

と題して、NHK 長崎放送の「見んと！長崎」でも道守が紹介されました。インフラ構造物も作る時代から守る時代へ変わろうとしている今、私たちにできることはやはり普段の生活の中で、小さな異常に気づくこと、その地域の目を活用すること。道守の役割の大切さが世の中に認められてきているようです。

新聞情報（朝日新聞掲載）



●今後の道守の養成について

道守の存在が報道されるようになり、インフラ長寿命化センターに、道守補助員を目指したいという問い合わせが増えています。今年度の道守補助員養成に関しましては、日程や場所を検討中ですので、今しばらくお待ち下さい。

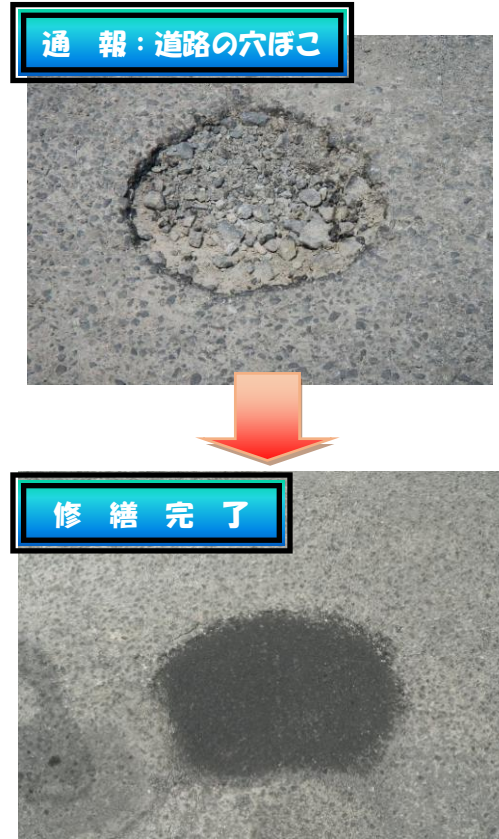
長崎県大村市。町内会長の市川徳夫さん(75)は昨秋、自宅近くの市道のくぼみが見つけ、市に連絡した。「近くで水道工事をしていたので、注意をして見ていた」。その後、市が補修したという。

市川さんは、長崎大学が2008年度から開く講座「道守養成ユニット」で道路の構造や劣化の進み方などを学び、道守補助員に認定されている。「よく通る近所の道路や橋に関心を持つようになった」と言う。

これまで補助員に認定された市民は計194人にのぼる。

「通報」がより簡単に！

今年度より道守ポータルサイトからの「通報」が、より簡単に利用できるようになっています。運用開始から約3ヶ月で約50件の通報（下図の箇所）が届いています。みなさま方の一つ一つの通報が地域の道の安全につながっています。



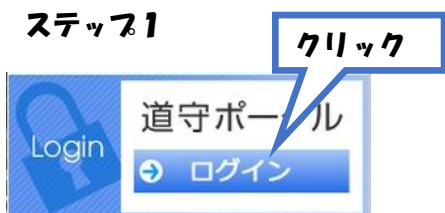
「システムの利用について」

システムの利用にはユーザーIDとパスワードが必要です。ユーザーIDは認定番号、初期のパスワードは誕生日です。例えば1979年9月2日なら、19790902です。

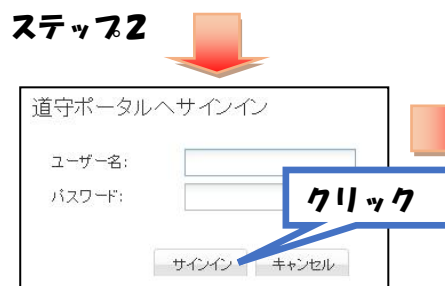
認定者の皆様、道路等の異常を発見された際は、是非、この通報システムを利用して下さい。ポイントの更新もこのシステムから行うことができます。不明な点などありましたらセンター事務局まで、お問い合わせ下さい。

【通報システムの利用方法（パソコンの場合）】

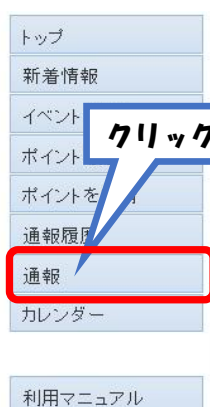
ステップ1



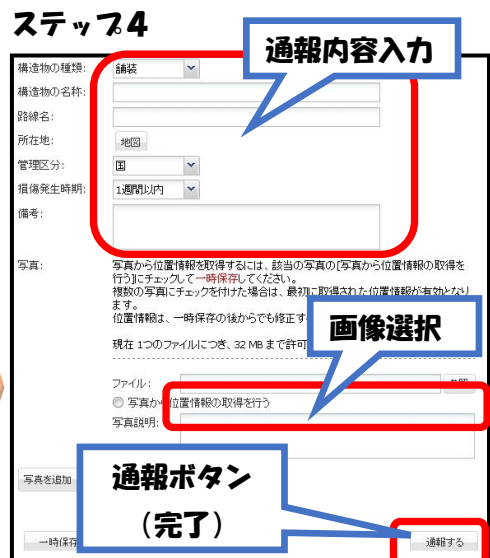
ステップ2



ステップ3



ステップ4



「工業高校生の育成」に協力をお願いします！

平成21年度から「建設業人材確保・育成モデル事業」を建設業協会、長崎県、長崎大学等が連携して実施しております。本事業の目的の一つである土木系工業高校生の「県内建設業」就職の促進は、本事業実施前の平成20年度11名から平成21年度14名、平成22年度17名、平成23年度20名、平成24年度21名と毎年着実に増加し、一定の成果を上げることができました。

工業高校側から教育効果が非常に高いとのことにより、今年度も「地域活性化のためのインフラ長寿命化体験実習」を実施いたします。本プログラムを長崎大学および工業高校3校(佐世保工業高等学校・大村工業高等学校・鹿町工業高等学校)で実施するに当たり、『道守補』以上の認定者に体験実習の講師として参加していただきたく思います。「未来の有能な土木技術者の育成」のために、ご協力をお願いいたします。協力していただきたいのは、非破壊試験器を用いた演習と橋梁点検実習です。

※詳細は、道守HP、メール等でお知らせいたします。

○非破壊試験装置を用いた演習

- ・実施日：8月7、8日
- ・実施場所：長崎大学
- ・募集人員：2名（コンクリート：1名、鋼構造1名）
- ・内容：コンクリート構造は、電磁波レーダー法、電磁誘導法、反発硬度法、中性化ドリル法などの手法の原理と機器の使い方
の指導を行う。鋼構造は、磁粉探傷試験、浸透探傷試験、鋼材・塗装厚さ測定法などの計測手法の原理と機器の使い方
の指導を行う。



演習状況（昨年度）

○橋梁点検実習

- ・実施日：8月下旬～11月下旬で4日間
- ・実施場所：佐世保工業高校、鹿町工業高校、大村工業高校
- ・募集人員：15名（各校5名）
- ・内容：橋梁点検および点検シート記入方法の助言・指導を行う。



実習状況（昨年度）

道守事務局より一言

センターでは、県内各地の認定者の方からの通報を受け、各々の道路管理者への連絡を行っています。その修繕が完了したとの報告を受け、対応内容と写真をみると私はとても嬉しくなります。きっと通報して下さった方もそうだと思います。小さな力が集まって、大きな力になっていくことを信じて、事務局で仕事しています。いつでもお気軽に連絡ください。（松永佳代子）

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://michimori.net/> (道守新 HP アドレス)